

11/8 五郎

被 告 者 ／ 「 謝 罪 」 の 言葉 な し

統一協会が会見解散請求受け入れず

文部科学省からの解散命
令請求を受けて、統一協会

(世界平和統一家庭連合)
の田中富広会長らが7日、
都内の協会本部で記者会見

し、請求について「到底受
け入れられない。今後も法
的主張を貫く」と表明しま
した。同会長は顔頭、信書

2世いた、「心からおわびす
る」と述べましたが、「被
害者」や「謝罪」という表
現は認めませんでした。賀

一

疑では献金などの被害の背
景を「現場の伝道者による
説明不足」などと説明し、
協会の組織的な体質ではな
いとの認識を示しました。

→関連⑩面
本紙は参加を申し入れま
したが、「満席」を理由に
断られました。会見は動画

撮影サイトの統一協会公式
チャンネルで配信されました。

協会が裁判所の判断の
前に資産を海外などに移転
させる恐れが指摘され、財
産保全のための新たな立

記者側の求めで当初一時間

で裁判所が判断するまでの
間、60億円から最高100
億円を拠出しして国に供託す
ることにて同会長は、
金額も現状では特定されて
いないなどとして「不安

はない」とつり「特別措
置として供託制度を用意さ
なければ当法人で準備す
る」と述べました。

司会は統一協会側が務め

ました。会見前に司会者が

「賀問は一社一聞、本日の

会見内容に限る」と発言。

文部科学省からの解散命
令請求を受けて、統一協会
(世界平和統一家庭連合)
の田中富広会長らが7日、
都内の協会本部で記者会見
し、請求について「到底受
け入れられない。今後も法
的主張を貫く」と表明しま
した。同会長は顔頭、信書

2世いた、「心からおわびす
る」と述べましたが、「被
害者」や「謝罪」という表
現は認めませんでした。賀

一

だった会見時間を30分延長
しましたが、露骨を重ねようとした記者を「制限せ
てください」と何度も場
面もありました。

統一協会の会長会見

文部科学省からの解散命令請求を受けて「田中」記者会見を開いた統一協会(世界平和統一家庭連合)の田中理事長は、元信者や家族に対する謝罪を拒否した上で、「(職金の)返済請求の金子が被信者などに受け入れがた」と主張しました。統一協会の被信相談を約3年間じだつて受けた男性が本紙の取材に応じ、田中理事長の発言について「誠実に反対する態度ではなく、世人のようだった」と感想を述べました。

「せめて他人事」

信者の家族 怒りあらわ

この男性は、統一協会に入信した直前の妹夫婦を脱会させた経験があります。解散命令請求で文科省は数々の不法行為をあげ、組織性(組織性)と指摘されています。田中会長は、「(勧誘をする)信者の意識が不足して『たなじと信者が責任を負う』と誤解されました。田中会長は、「最近も先祖の因縁(いんねん)や恐怖を抱いた信金を正体を隠した勧誘でした。男性は「(最近も先祖の因縁(いんねん)や恐怖を抱いた信金を正体を隠した勧誘)につれての謝罪があつたが、裏側には何も変わった」などと語りました。

会見に出席した記者から、「理解していない」と述べ、補機にひいて「政府が100億円を預けて『これでなんとかしてくれ』といつて高額献金で困窮する信者家庭が出ている問題についても、田中会長は「献金は神聖な行為だ」と反対化した上で、「家庭の経済事情を把握する必要はない」と本音を語りました。

をした人の気持ちを全く理解していない」と述べ、補機にひいて「政府が100億円を預けて『これでなんとかしてくれ』といつて各地の施設や協会本部を荒らしてでも補償するのが正しい救援だと思う」と強調しました。